

ひたちなか市立新中央図書館 基本設計図書（概要版）

2025 年 5 月 ひたちなか市

■計画概要

□敷地概要

施 設 名 称：ひたちなか市立中央図書館

地 名 地 番：茨城県ひたちなか市石川町地内 25 番、25 番 3

敷 地 面 積：30,174.55 ㎡（内 . 図書館計画範囲：約 9,000 ㎡）

用 途 地 域：第 2 種住居地域

指 定 建 蔽 率：60％（都市公園法：15％）

指 定 容 積 率：200％

地 区 計 画：石川・青葉地区地区計画

防 火 指 定：指定なし

道 路 幅 員：北側：11m、西側：8 m、南側：8m、東側：6 m

□建築計画概要

施 設 用 途：図書館法第 2 条第 2 項に規定する公立図書館

建 築 面 積：約 3,500 ㎡

延 べ 面 積：約 4,500 ㎡

容 積 対 象 面 積：約 4,500 ㎡

容 積 率：約 15％＜許容：200％

建 蔽 率：約 12％＜許容：15％

建 築 物 の 高 さ：GL+9.5m

最 高 高 さ：9.5m＜許容：10m（地区計画）

構 造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

階 数：地上 2 階

駐 車 台 数：約 120 台（車椅子使用者用 3 台含む）

駐 輪 台 数：約 80 台

エ レ ベ ー ター：乗用 2 台

収 蔵 可 能 冊 数：約 40 万冊

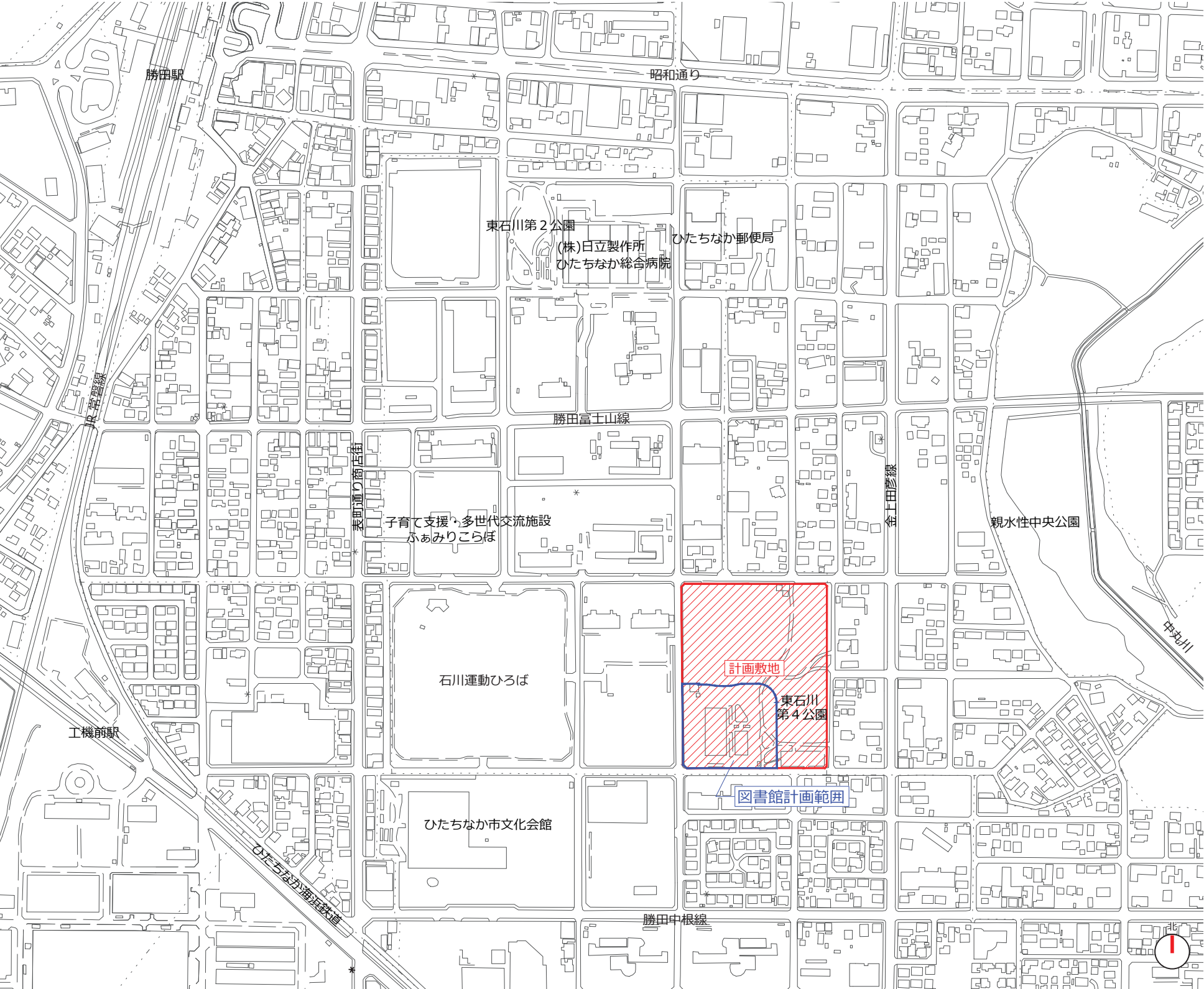
座 席 数：約 450 席

省 エ ネ 適 合：ZEB Ready

□事業スケジュール

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度
工程	基本設計	実施設計	発注	新築工事	移転 開館

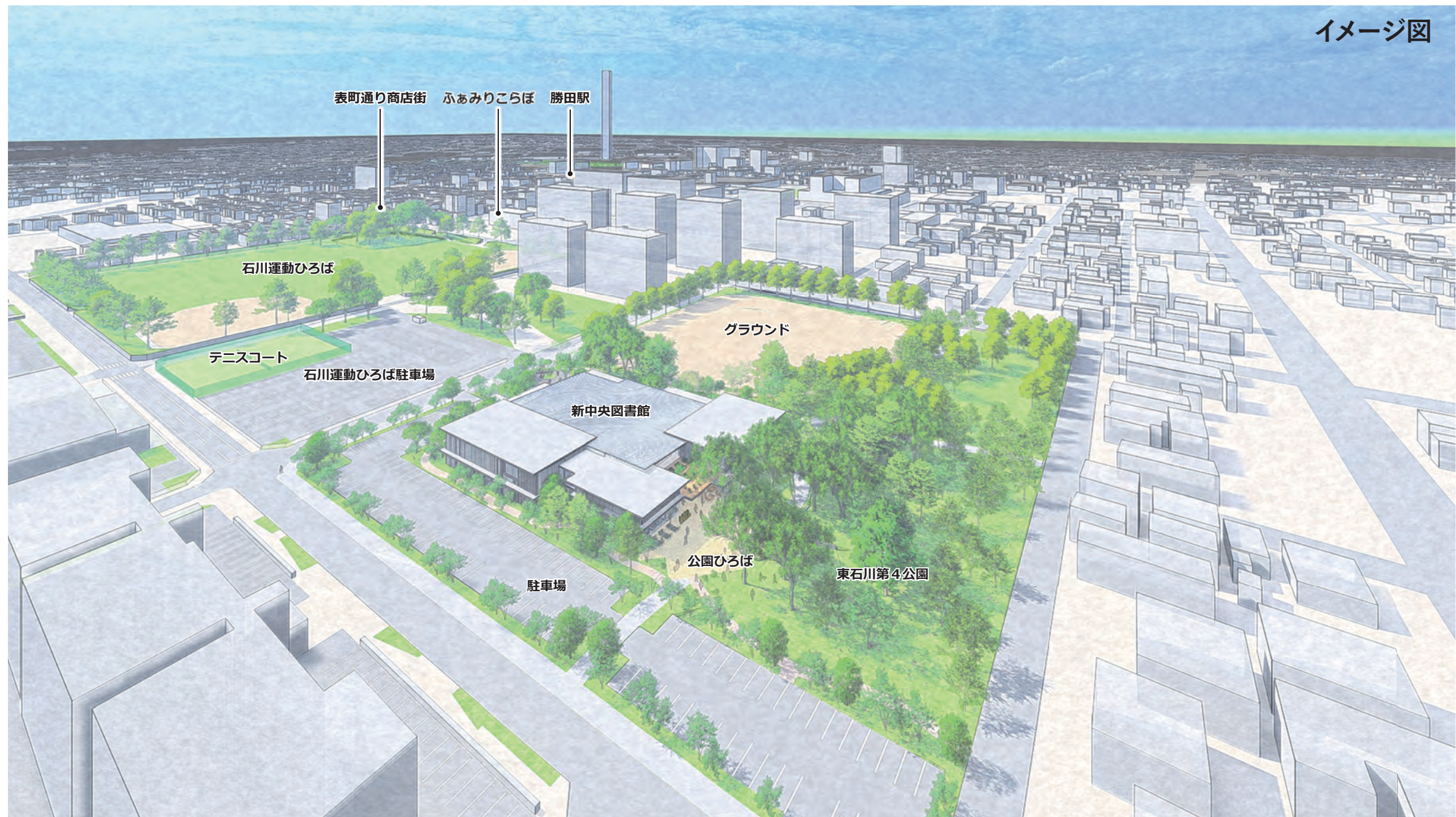
□案内図



■ 設計コンセプト

心地よい緑の中で、ひたちなかの魅力に出会える、交流・情報・創造拠点

- 1 公園との一体的な整備を活かした、まちとつながる図書館
- 2 "人の活動・まちの情報・新たな本" と出会える「シビックリング」を骨格とした図書館
- 3 様々な活動が独立しつつ共存できる、誰もが安心して利用できる図書館



新中央図書館のイメージ

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

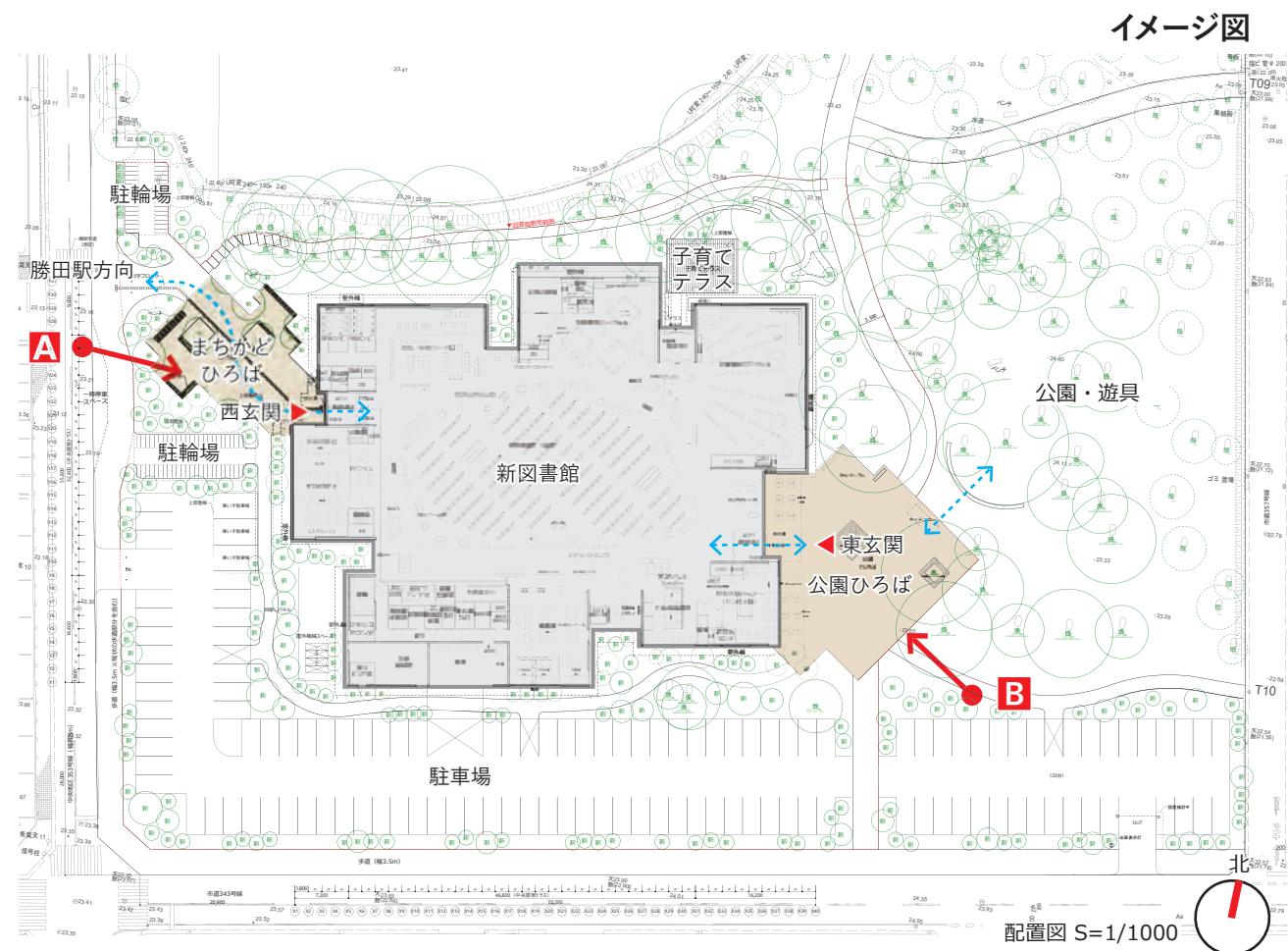
1 公園との一体的な整備を活かした、まちとつながる図書館

1. 緑・光・風あふれる快適な図書館

- ・既存樹木を活かしつつ敷地内に樹木を適切に配置し、館内のどこからでも公園の緑豊かな景観が感じられる計画とします。
- ・年間を通して安定した間接光が得られる北側の自然採光を生かした、明るく快適な館内環境を形成します。
- ・公園の涼しい風や新鮮な空気、木々が揺れる音が感じられる、公園と一体的な図書館ならではの環境づくりを行います。

2. まちとつながる2つの広場

- ・勝田駅（北西）および公園（南東）からのアプローチ空間に「まちかどひろば」「公園ひろば」の2つの広場を設けます。図書館や公園と連携した様々なイベントが可能なスペースとすることで、中心市街地の活性化にも貢献します。
- ・広場はゆとりあるスペースを確保することで、くつろいで過ごせ、マーケット、コンサートなど、様々なイベントが開催しやすい設えとします。



A 勝田駅方向からの人を受け入れるまちかどひろばのイメージ（敷地北西から）
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。



B 公園と一体利用できる公園ひろばのイメージ（敷地東側から）
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

2 "人の活動・まちの情報・新たな本"と出える「シビックリング」を骨格とした図書館

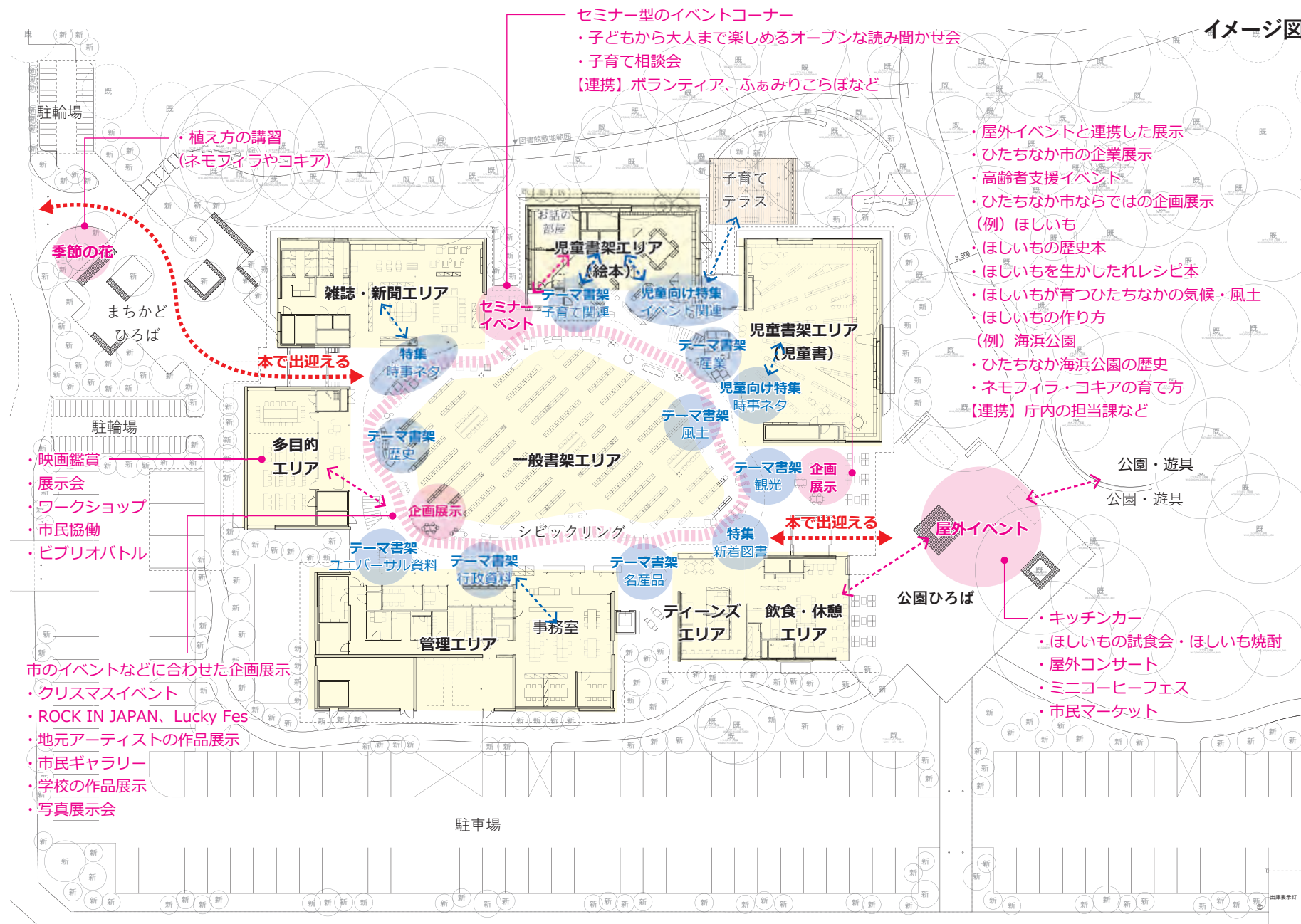
1. 人・まち・本との出会いを生む

- ・中央の書架をリング状に囲み、まちの魅力＝「人の活動・まちの情報」に出会える回遊空間＝シビックリングを計画します。
- ・人々の活動やまちの情報と一緒に、それをより深く知ることができる様々な情報コーナー（関連本やデジタル情報）を設け、シビックリングを巡れば、ひたちなかの魅力に出会える図書館をつくれます。

2. 市民ワークショップで生まれた"市民のアイデア"を生かした活動・展示空間

- ・市民ワークショップで生まれた市民のアイデアを生かした、ひたちなかの市ならではの活動・展示がシビックリングで行える計画とします。
- ・日常時・イベント開催時に合わせて家具を移動でき、空間を自由にカスタマイズできる設えとします。
- ・市民自らが企画したり、展示ができる仕組みや、市民団体や行政が連携した運営を検討します。

■市民ワークショップで生まれたアイデアを生かしたシビックリングの活動イメージ

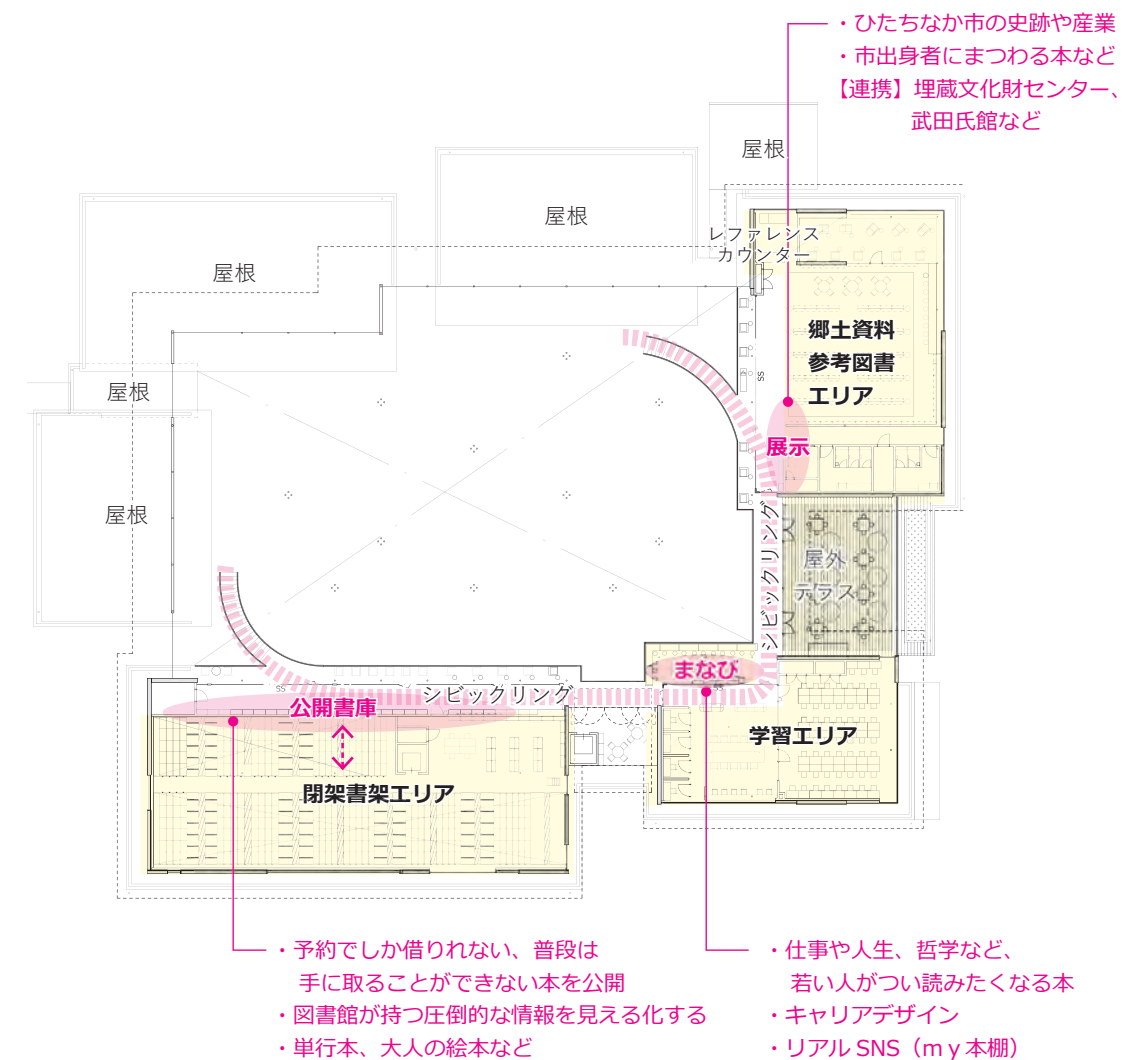


1階平面図

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

イメージ図

イメージ図



2階平面図

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

平面図 S=1/600



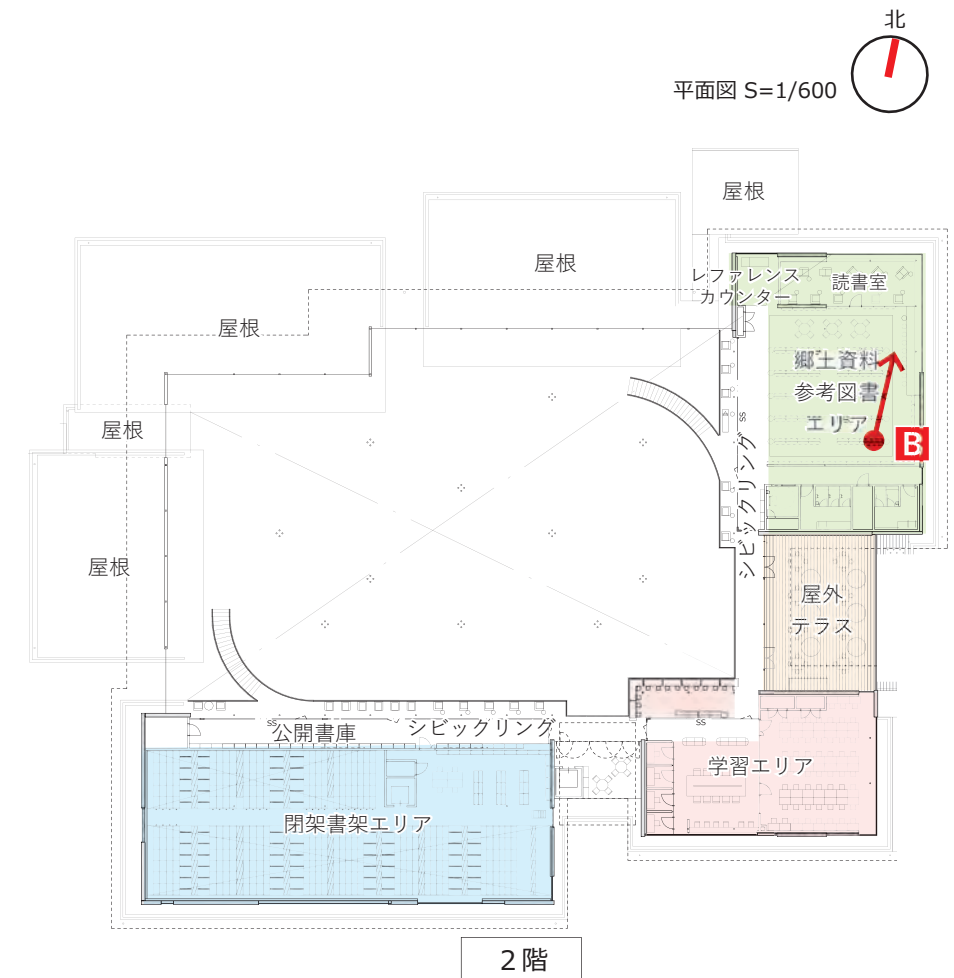
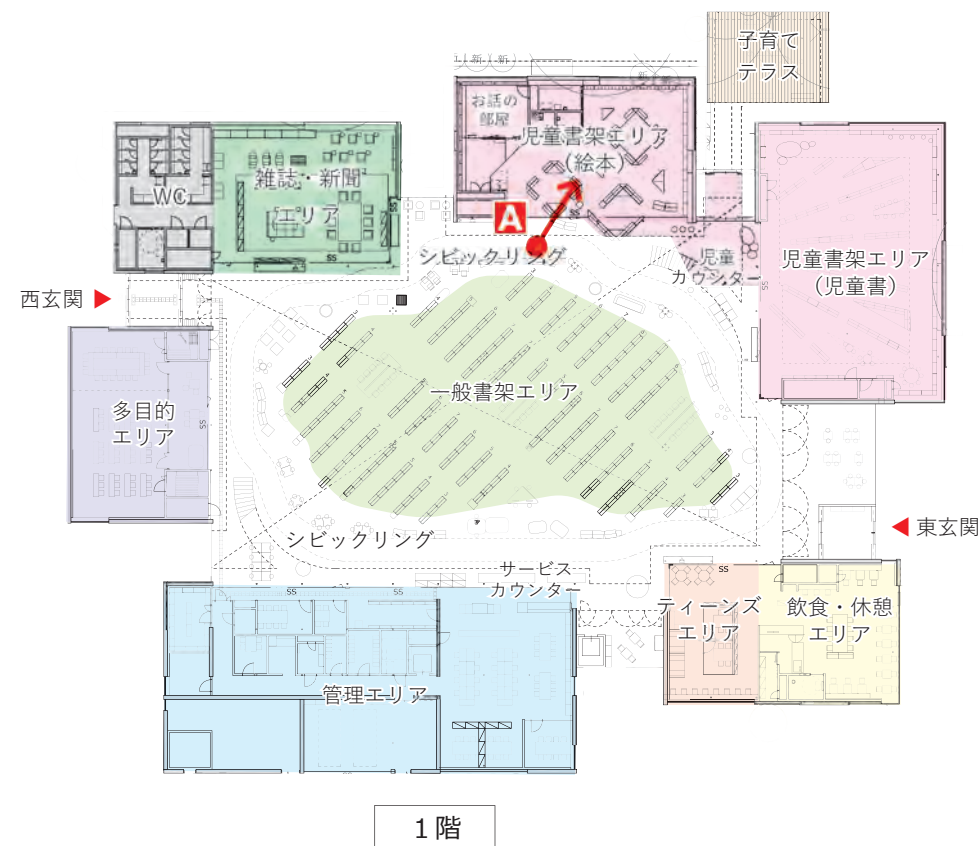
3 様々な活動が独立しつつ共存できる、誰もが安心して利用できる図書館

1. 中央に開架書架、外周部に各活動エリアを分散配置

- ・全ての人がアクセスしやすく、日射など外からの影響を受けにくい施設中央に一般書架を配置します。
- ・施設内を8つの活動エリア（雑誌・新聞、児童書架、多目的、管理・閉架書架、ティーンズ、飲食・休憩、学習、郷土資料・参考図書）に区分し、各活動エリア間の相互利用を考慮しつつ、適度な距離で外周部に配置します。
- ・各エリアの独立性を高めることで、賑やかに遊びたい子どもや、静かに本を読みたい大人等、それぞれの活動特性に適した環境づくりを行います。

2. 見通しの良い大きなワンルーム空間

- ・中央の一般書架エリアは、吹抜を設けた高天井とし施設全体が見渡せる開放的な空間とします。
- ・図書館ならではの本の世界観や、多世代の様々な活動が見えることで、本や人との偶発的な出会いを生み出します。
- ・各エリアの見通しを良くし、誰もが安心して利用できる空間づくりを行います。
- ・シビックリングを2階までつなげ、2階の積極的な利用を促進し、郷土資料や公開書庫に並ぶ様々な資料など、図書館が持つ知との出会いを生み出します。



イメージ図



A 親子で安心して楽しめる児童書架エリアのイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。



B 公園の景観を楽しみながら、ゆっくりと本を読める2階郷土資料・参考図書エリア (2階) のイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。